

Vol.219 CONTENTS BRIEFING

～本号記事の概要説明～

協会動向P3

- ・ 2021年度の定時総会が5月27日（木）、千代田区大手町のLEVEL21東京會館で開催されました。本年もコロナ禍の中で昨年と同様に規模を縮小し、正会員のみによる開催となりました。本号では、総会で報告、決議された「2020年度事業報告、決算報告」並びに「2021年度事業計画、収支予算」を掲載しましたので、ご確認ください。（P3）
- ・ 定時総会の終了を経て、理事会を始めとした本年度の運営体制が固まりましたので、運営組織図と共に各委員会、各研究会、各W・Gの名簿を掲載しております。協会活動にご参画をいただく皆さまには、お忙しい中での活動となりますが、どうぞよろしくお願いいたします。（P30）
- ・ 関東支部流通業務委員会では、毎年物流に関する調査を行っておりますが、本号では2020年度調査の成果物となる「在庫回転日数調査」と「備車及び物流動向調査」を掲載しています。（P36）

シリーズ「消費税インボイス制度への対応（6）」P42

- ・ 昨年6月より「インボイス制度対応専門部会」で業界としての対応の検討を行なって来ましたが、その成果物となる「インボイス制度対応－企業間取引の手引き」（略称「手引書」）が各方面のご協力をいただいて完成し、5月24日に協会HPにて公開しました。本号では、その「手引書」の内容を説明資料形式にて纏めたものを掲載しています。説明会等で必要な場合は、協会HPの会報記事よりダウンロードしてご使用ください。（P56）
- ・ 一般財団法人食品産業センターが発刊する「明日の食品産業（5月号）」に、特集「インボイス制度の円滑な運用を目指して」が掲載されました。基本となる考え方が述べられているものであり、当センターのご了解をいただき、転載させていただきましたので、併せてご確認ください。（P42）

「持続可能な物流の構築」関連P84

- ・ 「加工食品流通のリードタイム延長問題」については、昨年11月に開催した賛助会員幹事店会にて議論を開始し、その後当協会の「物流問題研究会」と加工食品メーカー8社で構成する「食品物流未来推進会議（SBM）」と合同で「納品リードタイム延長WG」を組成して、様々な議論を継続してきました。それらの議論を受けて、この程「メーカー受注締め時間の後倒し」の実証実験を開始し、具体的な成果に結びつけようとしています。それらの経緯と今後の活動について纏めたレポートを掲載しました。（P84）

・昨年3月に「加工食品分野における物流標準化アクションプラン」が発出され、そこで示された方向性に基づき、その後様々なプロジェクトが展開されています。その一つが「パレット・外装サイズの標準化」であり、昨年7月より、製配販及び物流事業者から成る「外装サイズ標準化協議会」が発足し、検討を行なってきました。その成果物である「加工食品分野における外装サイズ標準化ガイドライン」が纏まり、本年4月に公表されました。本号では、その概要説明資料を掲載しました。本編は協会HPの「各種情報－物流」欄に掲載していますので、ご覧ください。（P88）

・上記で説明した「アクションプラン」の一つに「外装表示の標準化」がありますが、その一環としてGS1Japan（一般財団法人流通システム開発センター）が進めていた、段ボールケース上の日付情報等の表示の標準化について、「ケース単位への日付情報等のバーコード表示ガイドライン」として纏まり、発表されました。その概要説明資料を上記と同様に「加工食品分野における物流標準化アクションプラン－フォローアップ会」の資料から転載させていただきました。（P91）

関係省庁・団体からのお知らせP103

・例年、一般財団法人食品産業センターによって纏められている「食品産業における取引慣行の実態調査」の令和2年度版が、6月10日公表されました。当協会に対し、食品産業センター様よりご案内をいただきましたので、その内容を掲載しました。報告書の全文は、食品産業センターHPで公開されていますので、ご覧ください。（P103）

会報に関するご意見、ご指摘がございましたら、協会事務局までお寄せください。

(nsk-nhk@nifty.com) 皆さまの声を会報編集の参考にさせていただきます。